

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1468
施設名	おおつかほうゆう 保育園
施設所在地	豊島区北大塚1 - 21 - 13
法人名	社会福祉法人豊友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「世界」

<テーマの設定理由>

本園は海外にルーツをもったこどもが多く、日頃から、自分とは違う言葉を使う人がいること、国が違うということに興味を持ち始めていた。異なる国の文化や言葉などをきっかけに更なる興味・関心が広がればという願いからテーマ設定を行った。

2. 活動スケジュール

(活動前)保護者の出身国を聞いてみよう

R6.10(R7.1) シンガポール(インド)について調べよう

R6.11(R7.1) シンガポール(インド)の食べ物を作って食べよう

R6.11(R7.2) オンラインパーティに参加

R6.12(R7.2) 世界のオモチャで遊ぼう

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

①世界にまつわる絵本・玩具

②出身国を記した世界地図

③保育室の一角に世界コーナーを設置

④デジタル教材

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・図鑑やデジタル教材等を活用し「シンガポール」と「インド」を学ぶ。

(国の場所を知る、有名な建造物や食べ物を知る・作って食べる、国の言語で歌う、玩具で遊ぶ、民族衣装を着る、オンラインパーティーに参加し会話をする、等)

・世界の国旗に親しむ。

(国旗にまつわる絵本を読む、塗り絵をする等)

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

自分が海外にルーツがあることを理解している子どもが多かったため、活動前から「世界」に興味を持ち、活動にも意欲的であった。特に「玩具」に対する関心は高く、定期的に届く「世界ボックス」を楽しみにしていた。オンラインパーティーでは時差や映る人たちの服装など自分たちと異なる部分に注目した発言が多々あり、画面越しではあるが現地の人と会話を楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動当初、子ども達をもつ「世界」のイメージは曖昧だったが、年度末頃には、世界の玩具や国旗・有名な食べ物等、自分達で調べたり、教材を通して知ったことを絵で表現する姿が見られ印象的であった。子ども達の興味関心がどこにあるのか、そして、それを更に深めていくにはどのような関わりや環境設定を行うことが望ましいのかなど、活動展開としての難しさを感じると共に、大きなテーマだからこそなのか、活動が分散してしまったのも反省点である。しかし、子ども達は活動で触れた国に対しての知識を深めており、それはとても良い機会だったと感じている。次年度は、今住んでいる「日本」への興味付けも併せて行っていき、いろいろな国を知る中で「世界との違い」などにも活動を広げていけると良いかと考えている。